

マスコット
キャラクター
(フチュッピー)

研究だより No. 3

令和7年度の本校研究では、『個別最適な学び』と『協働的な学び』の一体的な充実、さらに「ICTの活用」に重点を置き、授業改善に取り組んでいます。7月には理科の公開授業を実施し、多くのご参観をいただきました。生徒の学びの様子や授業づくりの工夫について、貴重なご意見を頂戴しております。

本号では、公開授業の成果と課題を紹介しております。今後ともご指導・ご助言のほど、よろしくお願い申し上げます。

公開授業【理科】の成果と課題 授業者：浅野 欣史

本校では「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指し、理科の公開授業において単元内自由進度学習を取り入れました。対象は第1学年「光による現象」の小単元で、生徒はアンケートをもとに「虹はなぜできるのか」という単元を貫く問いを設定し、自ら学習を進めました。以下に、実践の成果と課題を整理します。

○学習活動

【実践】課題を「マスト課題」と「発展課題」に分け、誰一人取り残さない学びを目指した。マスト課題では、実験・演習・作図・動画視聴を通して基礎理解を深め、発展課題では「色の順序」や「屈折と反射の位置関係」に挑戦した。

【成果】実験では、試行錯誤や協働的な議論を通して理解を深めようとする姿が見られた。進度の速い生徒が「先生役」となって仲間の理解を支援する場面もあり、学び合いの広がりが確認できた。

【課題】時間の確保が十分にできず、発展課題をあまり扱うことができなかった。そのため、発展内容に充てる学習時間の確保が今後の課題である。

○学習計画

【実践】アンケート結果を基に問いを設定し、ICTを活用して学習計画を立てた。互いの計画を参照したり、振り返りを通して調整したりできるようにした。毎時間の冒頭と後半に振り返りの時間を設け、次時への見通しと学習内容の定着を促した。

【成果】生徒は計画の調整や問いとのつながりを意識しながら学習を進める姿を示し、学びを「自分事」として捉える傾向が強まった。

【課題】学習の様子を的確に捉える評価計画がまだ十分でなく、今後は評価方法をよりきめ細かくしていく必要がある。

○学習形態

【実践】学習場面に応じて「個別」か「協働」かを生徒自身が選択できるようにし、自分のペースで学習を進めた。また、掲示板アプリを用いた中間報告を通して他者の考えを共有した。

【成果】協働場面では自然な対話や教え合いが活発になり、他者の考えを取り入れて解答を改善する姿が見られた。特に公開授業では、選択した学習形態が尊重され、安心して学びに取り組む様子が確認できた。

【課題】友好関係を優先したグループ編成になりがちで、学びの質を高める視点からの再検討が必要である。

○教師の関わりと評価

【実践】教師は教えすぎない姿勢を意識し、生徒自身の気づきや対話を引き出すように関わった。

【成果】生徒同士の自然な対話や教え合いが活発になり、自立的に学ぶ雰囲気生まれた。

【課題】授業全体を通して生徒の学びの深まりを客観的に把握し、評価に結びつける仕組みをよりきめ細かくしていく必要がある。

本実践を通して、生徒が問いや計画を自ら決めることで学びを自分事として捉える姿が多く見られました。今後も、生徒が自立した学習者として成長できるよう、教材開発や授業改善に継続して取り組んでいきます。



今後の公開授業の日程

開催日	11/14(金)	11/28(金)	12/11(木)	12/12(金)	12/17(水)	1/20(火)	1/28(水)
教科	国語	社会	音楽	保体	美術	技術	家庭



鳴門教育大学附属中学校

〒770-0804 徳島県徳島市中吉野町1丁目31番地

☎ 088-622-3852 ☎ 088-652-0122

✉ fuchu@naruto-u.ac.jp

🌐 <https://www.secsch.naruto-u.ac.jp/research.html>